

初優勝！サッカークラブチーム 大隅NIFS FC U-15

大隅NIFS FC U-15は、12月23日(木)に行なわれた九州クラブユース選手権鹿児島予選大会で、6試合を勝ち抜き、優勝を飾りました。

同チームは、鹿屋体育大学を本拠地とする15歳以下のサッカークラブチームです。

優勝は、チーム結成以来初めてで、本町から参加している3人が優勝報告に役場を訪れました。

3人は、『プロサッカー選手』の夢を抱き、週4回鹿屋体育大学グラウンドで行なわれる練習に参加しています。

九州大会の出場権を得たチームは、2月5日(土)～6日(日)にさつま町で行われた同大会の予選リーグを1位で通過し、26日(土)～27日(日)に熊本県で行われるトーナメント戦への出場を決めました。



▲前列左から岡元 蓮君 (大崎第一中学校2年)
横峯史野君 (大崎中学校1年)
鎌田佑生君 (大崎中学校1年)

1月10日は『110番の日』 事件・事故から子どもを守ろう！

事件や事故から子どもたちを守ろうと1月11日(火)に野方小学校で志布志警察署員による110番教室が開催されました。

一日警察署長に6年生の宇都綾花さん・柚木原綺羅々さんが任命され、2名が警官役を演じ、署員が不審者に扮そうし、連れ去られそうになった時の対処法や、的確な110番通報の要領などをまとめた寸劇を実演しました。

ところで皆さん、不審者に連れ去られそうになったときの『いかのおすし』とは何か知っていますか？

【いかない、のらない、おおごえでさげが、すぐにげる、しらせる】です。

不審者に遭遇したときは、『いかのおすし』を思い出しましょう！



▲一日所長に任命された生徒2名も警官役で寸劇に参加しました。

おいしいお茶を飲んで元気はつらつ リーフ茶をPR！

町と大崎町茶業振興会、曾於地区茶業振興会は、合同で小学校児童(野方小学校・大丸小学校・中沖小学校)へ“リーフ茶”を贈呈しました。

これは、ペットボトル茶のブームによる若年層の“リーフ茶”離れを防ごうと計画されたもので、“リーフ茶”に対する関心を高めてもらいたいとお茶の概要やおいしい飲み方を説明しながら代表生徒に手渡しました。

近年、緑茶に含まれるカテキンが風邪やインフルエンザの感染予防に効果があるとの研究報告もあり、大崎町茶業振興会榎屋宗護会長は、『一番・二番煎じはおいしく飲んで、三番煎じはうがいに使って』とPRしました。



▲野方小学校で贈呈式を行いました。